

議会だより

第13号

<http://www.town.fujikawa.yamanashi.jp>



棚田で酒米を！
秋の収穫が楽しみ！！
(舂米地内)

富士川町議会

検索

■ 地区懇談会	2
■ 休日議会	5
■ 地域医療	6
■ 一般質問(9 議員が登壇)	7
■ ふじかわ昔ばなし	16

会を目指して

744人参加

懇談会を開催（第3回）

定数・25年度予算

を地区ごとに掲載しました—

4. 鯉沢中区

日時：5月25日 場所：上町公民館 参加人数：27人

問 今年の区の運営は始まっているが、地域力創造交付金は繰り越しできるか。

答 できる。

問 コミュニティ基金は集会所の改修に利用できるか。

答 区が借受人となれば、集会所であっても対象になる。区で調整して公民館を一カ所に絞って欲しいというのが町の考えだと思う。

問 鯉沢病院跡地の管理をしっかりとってほしい。また、今後の利用は。

答 国の方針がまだ決まっていないため、町も手がつけられない状況にある。



5. 鯉沢南区

日時：5月25日 場所：かじかざわ児童センター 参加人数：19人

問 議員削減は地域の声が議会に届きにくくなる不安もある。また、削減して報酬を上げる考えは違うと思う。

答 それぞれ議員の意見がある。いずれ、また議論されていく。

問 コミュニティーバスのサービス内容が他とくらべて差が出ているのはなぜか。

答 当初の目的もあるので、今後議会の中で議論をし、町とも話をしていきたい。

問 富士橋の架け替えの予定はあるのか。

答 県の今年度予算に調査費が計上されている。浅原橋が完成し、次は富士橋が予定され、上流側下流側どちらがいいかなど調査されていく。



6. 鯉沢北区

日時：5月30日 場所：ふれあいプラザ 参加人数：27人

問 マイナンバー制度が始まると、住民基本台帳カードはどうなるのか。

答 今のところ、住基カードとマイナンバーは連動しない方向で進んでいる。

問 旧鯉沢では区が再編されたが、旧区単位で活動したほうがより親密になってスムーズに動ける。区を大きくする必要はあるのか。

答 町が大きくなり、富士川町全体で行事をする際などを考え、全体を合わせるよう区が再編されてきた。区と地域支援職員が一緒になって問題を解決し、まとめていてもらいたい。



開かれた議会

6地区で町民と議員の

テーマ 地域医療・議員

—懇談会で出された主な質問

1. 天神中条区

日時：5月11日 場所：天神中条公民館 参加人数：37人

問 公民館建て替えや耐震工事に、コミュニティ基金を活用したいが。

答 申請は区からとなる。区長と相談して申請を。

問 道の駅の第3セクター運営は、全国的に成功した例がないがどう考えるか。

答 町は特別な経営方針で取り組み進んでいる。良かったと言われるよう、議会も厳しく対応していく。

問 リニア計画で土地利用計画が大幅に見直しされると思うが。

答 9月に路線案が出る。沿線地域と連携して地域の発展につながるよう協議していきたい。



2. 菴米区

日時：5月18日 場所：菴米公民館 参加人数：15人

問 二病院統合の課題は。

答 医師と看護師の確保が大きな課題。職場環境を整えることを含め検討されている。

問 地域力創造交付金は、活動内容で差が出てもいいのでは。新しい地域も含めて活発に活動する契機を与えたいと理解してほしい。

問 太鼓堂は地域の人たちが資材を投じて建てた歴史ある貴重なもの。もっと大事にしてほしい。

答 道の駅は太鼓堂をイメージしたもの。資料館となっている太鼓堂の活用を検討していきたい。



3. 大柵区

日時：5月23日 場所：コミュニティー大柵 参加人数：19人

問 病院が統合され、実際、救急車で運ばれて診てもらえるのか。

答 26年4月から、鯉沢病院は24時間救急医療体制が整うよう計画している。

問 病院経営は住民に財政負担がかからないよう、厳しいチェック体制を。

答 評価委員会の設置を検討。町でも地区説明会を予定している。

問 庁舎、町民会館の耐震化や建て替えは。

答 町で来年度以降検討されていく予定。



ワクチン接種に追加補正！

平成25年度
6月定例会

富士川町一般会計補正予算

補正額 1億2270万円

総額 75億32万円

6月定例会を7日から12日までの6日間の会期で開催しました。町長から提出された条例制定案2件、条例改正案9件、一般会計および特別会計補正予算など計28議案を原案のとおり可決しました。



地域活性化施設塩の華の改修

おもな補正予算

峡南広域行政組合電算システム負担金	3,722万円
コミュニティ助成事業補助金（防災関連機材の購入・青柳町区）	220万円
峡南北部二病院統合事務組合負担金	263万円
高齢者（65歳以上）肺炎球菌ワクチン接種委託料など	200万円
風しん・MRワクチン（20歳から49歳）接種委託料など	300万円
空き店舗活用地域コミュニティ再生事業委託など （失業者の雇用促進と空き店舗活用。8月上旬募集、9月事業開始予定）	586万円
かじかの湯自動制御機器修繕	300万円
峡南広域行政組合消防費負担金	5,388万円
菴米公民館改修・修繕補助金	17万円
地域活性化施設指定管理委託など	924万円
林道柳川箱原線災害復旧工事費	630万円



床のリフォームが予定されている
菴米公民館

条例制定

- ・一般職の職員等の給与の臨時特例に関する条例
- ・新型インフルエンザ等対策本部条例

条例の一部改正

- ・税条例
- ・過疎対策のための固定資産税の免除に関する条例
- ・国民健康保険税条例
- ・児童クラブ条例
- ・重度心身障害者医療費助成条例
- ・総合交流ターミナルつくとべかん条例
- ・交流センター塩の華条例
- ・消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例
- ・消防委員会条例

人事

- ・人権擁護委員
再任 川口あき子（長沢）
再任 小池 茂（長沢）
（敬称略）
- ・カラマツオ外三十三山恩賜林保護財産区管理委員
新任 望月 文雄（五開）
（敬称略）

休日議会を開催

今定例会では、6月10日（日）に休日議会を開催しました。これは議会改革の一環として、住民の方に広く議会の活動を知ってもらうためのものです。

当日は9人の議員が一般質問を行い、約30人の方が傍聴に訪れました。傍聴者に行ったアンケートの結果を参考にして、今後の休日議会に生かしていきます。

傍聴しての感想

- ・住民が議会、本会議を傍聴する機会を増やすのは良いこと。また、議会から住民に対して機会を増やすということも良い。
- ・議会の傍聴が初めてでしたが、活発な討議が行われており、暮らしやすい町づくりのための原点のように感じました。また、入退出も自由で、多くの方が傍聴してもらいたい（特に若い世代）。そのために私自身も声かけしたいと思いました。
- ・いいと思います。しかし、それに伴う費用が気になります。費用対効果はいかほどでしょうか？
- ・傍聴に来てみると、町にはさまざまな問題がある。個人的には情報はとても少なく、こういう問題を町がどのように考えているかなど、傍聴することでよくわかる。
- ・普段行われている議会を身近に感じる事ができた。

傍聴者アンケート集計結果

（アンケート回答者 14人）

性別

男性 8人 女性 6人

議会を傍聴したことがありますか

今回が初めて 6人
以前にも傍聴したことがある 8人

休日議会の試みをどう思いますか

良い試みである 14人
開催しなくても良い 0人

議会だよりに皆様の声を！

— 議会広報モニター8人を委嘱 —



かなまる 芳子さん
（青柳町）



あきやま 始さん
（青柳町）



まるやま 良男さん
（中部）



しらかわ あきこさん
（青柳町）



のぞき 康次さん
（鯉沢北）



かがみ えみこさん
（長沢）



すぎた こうじさん
（青柳町）



やまだ かずひとさん
（鯉沢中）

議会広報常任委員会では、6月27日、議会広報モニターの委嘱式を行いました。委嘱期間は議会だより16号（平成26年3月定例会）までとなります。今後8人のモニターには、議会だよりが読みやすく、分かりやすい紙面になるよう、ご意見などをいただきます。

二病院統合はどこまで進んでいるの？

峡南北部二病院統合事務組合議会レポート

事務組合顧問に

佐藤 弥氏を

招へい

峡南北部二病院統合事務組合は、二病院統合の移行実務が円滑に行えるように、顧問を置くこととし、平成25年5月31日付けで、峡南北部二病院統合協議会委員 山梨大学医学部教授（同学部附属病院副病院長）佐藤弥氏を招へいました。

佐藤教授は、山梨大学医学部の副病院長（病院経営管理部長）であり、地域医療学講座教授および地域医療連携支援学講座教授を兼任している。

峡南医療センター

企業長は

河野哲夫氏内定

事務組合は、5月26日、平成26年4月開院予定の「峡南医療センター」の企業長として、河野哲夫氏（市川三郷町立病院長）を内定した。

平成25年度組合会計予算

総額 8億1千万円
（6月補正含）

峡南北部二病院統合事務組合議会は、4月22日に第1回臨時会、6月24日に第2回臨時会を開催し、25年度の会計予算などを可決した。

主な歳入予算

地域医療再生臨時特例交付金 7億8、900万円
2町負担分 1、900万円

組合債（ネットワーク構築設計業務分） 300万円

巡回バスは

予想を超える利用者

巡回バスは、4月1日から鵜沢病院と市川三郷町立病院間を1日12往復運行している。4月・5月の2カ月間の利用者は約600人。これまで定員オーバーで全員乗車できない時もあった。このため、当初計画していたバス購入について、車種の見直しなどを行うこととした。

巡回バス運行に伴う経費 1、300万円
情報システム構築工事 2億円
鵜沢病院取得費 5億円

「その他」

- ・鵜沢病院のデジタルX線テレビ装置透視台
- ・手術用X線透視装置
- ・市川三郷町立病院改修設計業務等

峡南北部二病院統合事務組合ホームページを開設しました。

<http://www.togokumiai.jp/>

両町のホームページからも検索できます

ワーキンググループの検討が始まる
人事管理、管理運営、財務会計における両病院の実務に関する取組みを計画し実行していくため、11のワーキンググループを設置し、具体的な検討が始まった。

シンボルマーク募集

事務組合では、峡南医療センターのシンボルマークの募集を行うこととした。

今後詳細を事務組合や町のホームページなどに掲載していくこととしている。

町政を問う 一般質問

さめた洋平 議員



問 ネーミングライツ導入を

答 調査・検討していく

問 まず文化ホールに、ネーミングライツの取り組みを進める考えがあるか。

企画課長 新たな自主財源確保の観点から、施設のネーミングライツの導入は、大変有効な手段と考え検討を



ネーミングライツの検討を

している。しかし、まずほ文化ホールは合併調整時、名称を残してもらいたいと当時の増穂町文化会館運営委員会から要望があり、協議・検討が必要であると考えている。

問 当面は文化ホールに対しては導入していかないと感じた。制度があれば手を挙げてもいいと言っている企業がある中で、導入を早急に考えていただきたいが、

町長 今すぐ駄目ということではなく、直ちに対処することができないため、十分な協議・検討が必要である。

問 他の施設にネーミングライツを導入していく考えはあるか。

企画課長 制度の導入および、

どのような施設が対象としてよいか検討していく。

省エネ対策は

問 公共施設の省エネ対策の現状と、自然エネルギーの活用は。

財政課長 エアコンの温度設定の徹底、蛍光灯の調整、OA機器の待機電力の削減および緑のカーテンの設置やクールビズの実施により、冷房時の消費電力の抑制に努めている。また、8カ所の公共施設にデマンドコントロールシステムを導入し、夏場の使用電力の管理削減を図っている。自然エネルギーについては、太陽光発電および地中熱によるヒートポンプシステムを導入している。

使用電力削減は

問 県では電力使用量を13%削減する目標を設け、17項目の実施計画を掲げた。町でも県と同様の取り組みまたは町独自の取り組みを

考えているか。

財政課長 温室効果ガス削減のため、目標達成の実施項目を6項目設定している。対22年度比で使用電力量は18%強の削減が図られている。

問 目標達成の結果は公表しないのか。

財政課長 広報誌、ホームページなどで公表する。

問 さらに削減が必要と思う。電球や蛍光灯はもちろん、夜間照明などにもLEDがあるが、公共施設での交換は考えているか。

財政課長 今後計画的に切り替えを進めていきたい。

用語解説

ネーミングライツ

公共の施設に企業名や商品名などを付ける施設の命名権。

デマンドコントロールシステム

最大電力量の目標値を設定し、最大電力量が大きくなることを抑制し、契約電力の減少を図るシステム。

問

第2保育所周辺の町道・農道の拡幅計画は

答

町道・農道とも幅員が狭い拡幅は今後検討

井上 勝 議員



問 第2保育所周辺の道路整備について、保育所周辺の道路名称を伺う。

建設課長 保育所の西を南北に通っているのは、町道長沢5号線であり、他の周辺道路は農道である。

問 第2保育所周辺の道路が狭く、子どもの送り迎えなどに不便を感じている保護者もいると聞いている。また、都市計画道路の青柳長沢線の未改良区間も昨年からの工事に着手した。幹線道路の整備とあいまって、周辺の生活道路も整備することで、はじめて都市計画

道路の効用も向上するもの
と考える。

第2保育所周辺の青柳長沢線と接続する町道・農道の拡幅計画はあるのか。

建設課長 保育所北側になる都市計画道路の青柳長沢線については、現在整備を進めているが、今はこれに



第2保育所前の通園道路

接続する町道・農道の整備計画はない。しかし、第2保育所周辺の生活道路は、町道・農道ともに幅員が狭く3〜4m程度であり、車のすれ違いも困難な状況であるので、今後検討していく。

大柵・大久保線の整備状況はどうか

問 大柵・大久保線は、現在、国道52号交差点までは広く立派な道路となったが、その先の区間が3年近く工事の停滞状態が続いている。当時、当局の説明によると用地買収、用地交渉が進み次第、廃棄道8m道路までの工事を進めるという説明を受けた。現在の進捗よく状況は。

建設課長 町道大柵・大久保線は、町の事業計画区間の延長が500mである。そのうち国道52号から町道金手小林線(通称8m道路)約250mについて事業認可を受け、開設に向けて用地交渉を行っている。現在の進捗よく状況は、用地補償が約77%完了しており、今年度も引き続き用地交渉を進める。

工事着手の時期については、平成26年度を予定している。

人口アップの 取り組み状況は

答 快適に暮らせる まちづくり事業を進める

長澤けん 議員



問 現在の人口5000人アップの取り組み状況は。

町長 子育て支援の充実や学習環境の整備を図り、医療体制の充実、町有住宅を確保、町有地の売却や山王土地区画整理事業を実施。施策を通じ、安心して生涯快適に暮らせるまちづくりを進めることで人口増加を図る。

問 人口が増えていないが町長 さまざまな施策が積み重なって、はじめて住んでいただけの町になる。

問 町外に籍を置く職員はどのくらいいるか。

町長 30人以上だと思う。

今は新しい職員の採用後は町内在住を条件としている。結婚などの事情で町外へいく人がいる。

問 今後何年で5000人増やす計画なのか。

町長 総合計画で1万7千人という目標を立てた。第1期総合計画は8年間の計画。8年後には目標にいかなくても、これ以上人口が減らないようにしたい。

問 増穂小学校西側の農地を宅地開発すべきと思うが。

町長 農振農用地区域なので、今すぐとはいかないが、今後都市計画マスタープランや農業振興地域整備計画の中で、地域の意見を聞きながら検討をする。

問 1本横道を通せば、すぐ宅地開発ができると思うが。
町長 家が乱立してからでは遅くなるので、早いうちにやりたい。

問 他町村に比べ土地開発事業の適正化に関する条例が厳しい。緩和できないか。
建設課長 町の条例が厳しい。

児童センターの有効活用は

問 児童センターの日中の利用状況は。

子育て支援課長 午前中は妊産婦および就園前までの乳幼児の親子が、子育て支援の育児教室などで利用し



いつでも利用できるますほ児童センター

いとという感じはない。開発の道路については、行き止まりだと回転ができないので6mの基準を設けている。通り抜けができれば4mでも開発の許可は出る。

いる。それ以外の日も自由に乳幼児の親子が利用できる体制をとっている。

問 多機能型児童館としてお年寄りに開放するなど、世代を超えた施設にできないか。

子育て支援課長 児童クラブの部屋は児童の持ち物などが置いてあるため、登録者以外の開放はしていない。児童センターは、子どもたちと触れ合うためであれば気軽に来て使っていたきたい。

問 生活保護受給者の現状と課題は

答 毎年増加傾向にあり自立に至るケースはない



永井寛子 議員

問 生活保護受給者は増加の一途をたどっている。最後のセーフティネットといわれる生活保護を取り巻く本町の現状を伺う。

福祉保健課長 現在59世帯82人で、前年と比較し12世帯の増となっている。

問 年間相談件数はどのくらいあるのか。また、そのうち実際に受給に至るケースはどのくらいか。

福祉保健課長 平成24年度は40世帯で、そのうち受給に至ったケースは12世帯である。

問 受給者が自立に至るケー

スはあるか。

福祉保健課長 受給者が自立に至ったケースはない。

問 若い人も含まれているが、何が原因で自立ができないのか。

福祉保健課長 病気など就労支援をする以前の問題があり、自立できない原因となっている。

問 受給者の増加に伴い、生活保護の不正受給が増えている。生活保護制度の根幹を揺るがしかねない事態



生活困窮者への食料支援の仕分け
(フードバンク山梨)

であり、真に保護されるべき生活困窮者への影響を心配する。本町ではこれまで不正受給の例はあるか。

福祉保健課長 県の峡南保健福祉事務所のケースワーカーが、生活保護世帯を定期的な訪問して調査を行っているが、本町には不正受給の実態はなかった。

問 生活保護にまでは至らないが、困窮している家庭への支援策として、フードバンクなどの活用がある。

本町ではフードバンクに年5千円の負担金を出しているが、これはどのような活動なのか。

福祉保健課長 NPO法人フードバンク山梨と食のセーフティネット事業について連携確約書を締結し、生活保護を申請してから決定になるまでの間、または困窮者の希望により食料支援を行っている。会費として年5千円納めている。

問 こういった情報の提供はどのようにしているのか。支援してほしい人は、どこに行つてどのような手続きをすればいいのか。

福祉保健課長 周知は公にはしていない。保健師やケースワーカーなど、家庭の中に入り込んでいける人たちが、定期的な会議を開いて食料支援などを行っている。

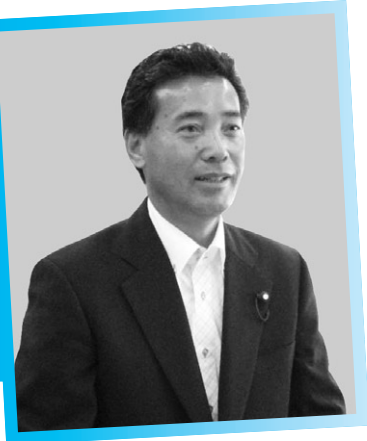
問 法が改正され生活保護費が引き下げられた。本町への影響は。

福祉保健課長 本町においては、減額・廃止になる受給者はいない。

問 リニア工事で JR東海と交渉する体制は

答 今後検討していきたい

秋山 貢 議員



問 リニア実験線建設工事に起因する環境への影響が具体的にどのよう発生しているのか。町としての認識を伺う。

企画課長 トンネル工事により、笛吹市御坂町の簡易水道の水源の水枯れや、上野原市秋山の簡易水道の水源となつている河川の水が枯渇したこと。高架の日影で桃やブドウの作柄に影響が出たなどの日照問題などは承知している。

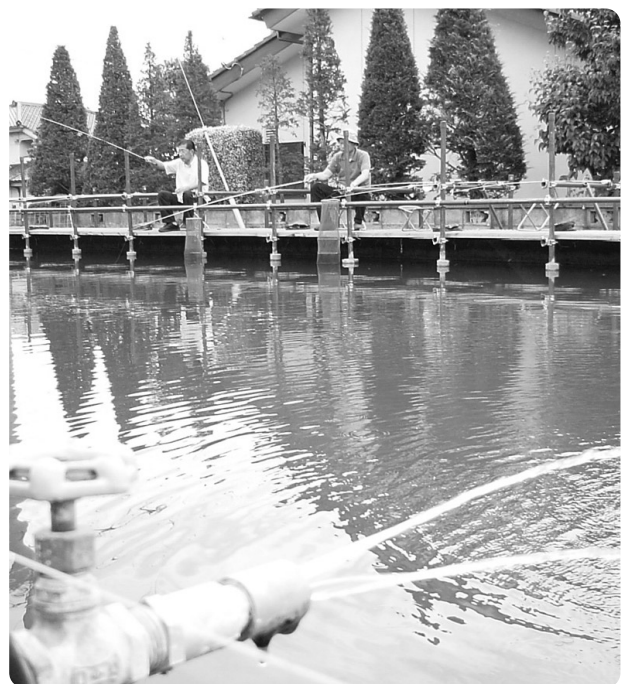
問 先日、役場西の釣り堀屋さんがオープンした。ここでも1週間で200トン

ぐらい地下水を使っている。もし、使えなくなったら死活問題になる。

町内の公的施設や民間で使っている水の利用状況を調査する必要があると思う。当然、河川の流量も調査する。調べたデータは上水道や簡易水道と一元的に管理し、地図情報システムを構築する。その費用はJR東海に負担していただく。業務はできるだけ町内にある業者にやらせていただく。

湧水した水の利用権は町が取得し、自由に活用できるようにする。リニア・ミナルウオーターとして販売することも考えられる。将来の水源枯渇に備えて配水池を設置する。これらもすべてJR東海の負担とする。

水が枯れる影響が出たならば、すべてリニアトンネル工事に起因するものであり、JR東海は無条件でその対応と補償に当たる。地域の住民や、学識経験者や専門家を交えて、JR東海



リニアトンネル工事による影響が心配される水資源 (役場西の釣り堀・最勝寺)

と詰められる体制をつくる必要があると考えるが。

企画課長 対策協議会については、どのような体制でできるか検討していきたい。

峡南医療センターの 企業長は決定したか

問 山梨県と梨大附属病院長も協定書で立ち会い、全面的に協力してくれると考えていたが、一番大事な企業長を決めるのになぜ時間がかかるのか。

町長 県の協力、梨大附属

病院の協力もいただきながら進めているが、企業長ということで本人の気構えが重要であり、そのところではないかと考えている。

かじかの湯・指定管理者が 改善案を実行すべきでは

問 入浴回数券の販売は、経営努力を促すインセンティブにならないのでは。

町長 町職員もセールスマンになり、販売促進し利用者を増やす努力をする。

問 荒廃した里山の再生を

答 所有者(民有地)から希望があれば対応

神田 智 議員



問 富士川町は80%近くが森林で、山は暗く荒れている。マツクイムシ、イノシシやタヌキの毛が抜ける疥癬病やマダニも急速に増え、マダニの媒介によるSFTSウイルスも発生し、またシカの媒介によるヤマヒルも増加している。

里山を明るくすることで保水力も増し、土砂災害も少なくなる。現状を町はどのように考えているか。

農林振興課長 林業の担い手不足や森林所有者の高齢化により、森林の荒廃は年々進んでいる状況である。

問 県では森林環境税の導入で年2億2千万円を見込んでおり、他市町村では荒廃再生、里山再生、広葉森林の植栽などを実施しているが、本町では、この税を財源とした事業を考えているか。

農林振興課長 小室区八雲池周辺2千平方メートルを里山再生事業で整備した。今後も峡南森林組合と連携を取りながら、森林環境税を財源とした森林整備を積極的に導入していきたい。

問 里山は現状がこうだから駄目、こうすればよくなるという性質のものではなく、非常に時間がかかると思う。50年後を見据えて、まず現状の調査を考えては。

農林振興課長 里山再生事業は民有林が対象、所有者から希望があれば対応する。

問 町の水は非常においしい。その源である里山の大切さを町民に啓発する考えはあるか。

農林振興課長 前年、広報を通して1回しかPRをしていないので、数を増やして町民に周知していきたい。



整備が求められる里山

問 森の大切さ、自然に関する知恵をもつと子どもたちに教えていくべきと考えるが。

教育長 増穂ふるさと自然塾や、21世紀森づくりの会などと連携し、森林体験活動支援事業や学校林を活用しながら取り組んでいきたい。

問 町内各小中学校の学校の有無と活用状況は。

教育総務課長 増穂西小、増穂南小、増穂中の3校にあり、西小・南小では間伐材の利用など、自然の大切さを学んでいる。増穂中はPTA役員の現地確認となっている。

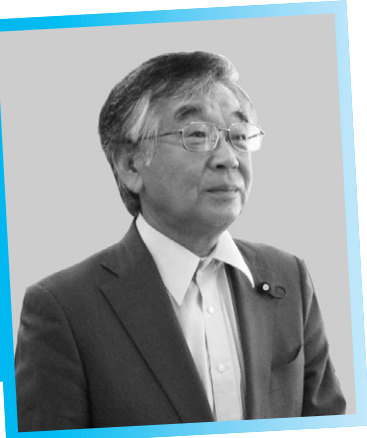
問 増穂中3年生に学校林の確認と、その地域の状況を見させる教育も必要と考えるが。

教育総務課長 増穂中学校林は36年経過しており、このままの保有でよい。生徒たちにも自分たちの学校林を見るところというような活動も今後、学校とも話をして検討していきたい。

第三セクター 「株式会社 富士川」の責任所在は

答 出資者として 出資の範囲の有限責任

齊藤 欽也 議員



問 2008年、北海道夕張市の破綻は衝撃的であった。「市民がいなくなる。夕張市それ自体がなくなる」という極端な反応さえ起こったが、破綻の直接の引き金は観光関連事業の第三セクターにあった。

2000年代から、膨大な債務を抱え破綻する第三セクターが続出し社会問題となり、国では、自治体財政の新たな指標として、公営企業・第三セクターを含む財政健全化指数を示し、議会への報告を義務付けた。同時に第三セクターの改

革に関するガイドラインやプランが具体的に示され、第三セクターの整理に関する特例措置と、地方公共団体が損失補償をしないこと、財政負担の明確化が求められた。そして、民間活力の新たな活用方法として、指定管理者制度の導入が進められた。

本町では、まほらの湯」「かじかの湯」に導入しているが、今回「つくだべかん」「塩の華」、そして来年完成する「道の駅」の3施設の運営に、指定管理者制度を導入するに当たり、なぜ第三セクター「株富士川」を設立したのか、理由と経緯は。

町長 これらの施設は地域物産のPR、地域雇用などをやってきた。民間に任せ収益だけで経営されたのでは、本来の目的が薄れてしまう。町が多額の費用をかけた施設である。町の情報発信・施策発信をするため、町が大きく関与する形で、民間ノウハウを活用する株式会社を設立した。



民間活力で新たな経営
(塩の華改装オープン)

問 指定管理者との基本協定の内容はこれまでのものと変わらないのか。また年度協定書の内容は。

町長 指定期間の5年は変わらない。ただし今回はこれまでと違い、農村公園や営業時間外の駐車場・トイレの管理など公益的施設の部分があり、それらの指定管理料が含まれるところが違う。

問 第三セクターの責任は一義的には公募で選ばれた代表取締役にあるが、町が損失補てんをするのか否か。民事上・刑事上の責任を経

営トップに問うのか否か。

町長 経営者としての職務権限・責任を明確にしているところである。町の出資者としての責任は株式会社であるから、出資の範囲、有限責任と考えている。

問 株式会社とはいえ、町が基本的な出資母体である。町議会との関係は。

企画課長 法令に基づき収支実績・執行状況を調査し、必要な措置を講ずる。議会に対して毎事業年度、経営状況を説明する書類を作成し提出する。

問 児童センター・放課後児童クラブの連携は

答 地域に根ざした子育て支援体制を充実

市川 淳子 議員



問 富士川町に2つある児童センターの利用状況は。
子育て支援課長 まずほ児童センターが年間6、377人、鵜沢児童センターが7、208人である。
問 放課後児童クラブの利用状況は。
子育て支援課長 富士川町に3つある児童クラブの定員は、各70人。
 登録児童数は、まずほ北児童クラブが1年生から3年生までで68人、4年生2人を入れ定員の70人。まずほ南児童クラブは1年生から3年生までで48人、4年

生10人を入れ58人。さくらなかよしクラブは1年生から3年生までで35人、4年生から6年生の9人を入れ44人。全体で172人の登録がある。
問 放課後児童クラブは3年生までを対象としている市町村が圧倒的に多い中、4年生以上も対象にしている富士川町は、共働き家庭の子育て支援に大きく貢献し、大いに評価できる。定員ありきという考え方ではなく、実態の支援策をとる必要があると考えるが。
町長 平成24年度の児童1日平均利用人数は、まずほ北が45人、まずほ南が27人、さくらなかよしが19人となっている。登録者イコール定員という考え方ではなく、柔軟性をもたせ、空いている部分を利用できると思っている。
問 児童クラブの運営は時間的に人材確保が難しい。そのためには、子育て支援課が音頭をとって、それらをサポートするシステムを

作っていくことが必要だと思いが。
子育て支援課長 放課後児童クラブは、学校でもなく家庭でもなく、でも子どもたちにとってほっとする居場所でありたいと考えている。各児童クラブには、指導員を専従として2人配置し、6月からは児童が下校し大勢になる時間帯に、3人の指導員体制を2カ所できている。今後、有償ボランティアとしての人材確保も十分検討していきたい。



利用されている放課後児童クラブ
 (まずほ北児童クラブ)

問 町長は、子育て支援の政策を今後、どのように展開していきたいと考えているのか。
町長 既存の施策、事業にこだわらず、子育て支援のニーズを的確にとらえ、施策展開をしていきたい。
 今、青柳宿などを核とした、にぎわいのまちづくり構想を進めていて、その中にも子どもたちが遊べて、お母さん方がくつろぎ、交流のできる子育てサロンなども考えている。

問 耕作放棄地の適切な農地保全是

答 国・県の制度を取り入れ農業再生に努力

保坂 實 議員



問 農業従事者の高齢化や採算性などで、遊休農地や耕作放棄地が増えている。

当町1万1、200ヘクタールの7%、8千アールが農地だが、これを減らさない農地保全の考え方は。

農林振興課長 中山間地域直接支払制度や、農地集積協力金制度、青年就農給付金制度などを取り入れ、農地水路の維持管理や環境保全に努力していく。

問 国が制度化を進めている農地中間管理機構への対応は。

農林振興課長 この機構は

農地の集約や管理業務の代行を事業として計画している。設置後は当町でも活用していきたい。

問 耕作放棄地に繁茂した雑草類が隣地耕作物に害を与え、病害虫の発生源ともなり、冬場は枯れ草となり火災原因ともなりかねない。雑草除去条例の周知徹底は。

農林振興課長 雑草除去条例へのつとり、地権者の理解と協力を得て、適切な雑草除去を実施していきたい。



中山間地にある廃屋

空き家、廃屋などの対策は

問 防災景観上問題がある。現状を把握しているか。

防災課長 各区の協力で約200件を確認している。

問 危険建造物が生活道や通学道沿いに散見される。老朽化したブロック塀の耐震強度調査はしているか。

防災課長 想定する南海トラフ地震の被害を考えると、安全確保が急務であり、共通な願いである。法で定められた基準での

設置は、所有者の責任である。通学路や生活道沿いの老朽化したブロック塀などの安全性を確認し、関係者や学校と協議して、安全対策を図っていく。

問 廃屋や老朽化した建造物を除去する、町条例制定の考えはあるか。

防災課長 防災防犯景観保全魅力あるまちづくりのために、全国で138の自治体で条例制定している。当町の条例制定については、現状の検証や各分野における影響、問題点を調査・研究して判断したい。

問 最近町内で火災が多発して関係者が心配している。

防災課長 昨年4月から20件発生している。今後とも町民の皆さまに、火災予防意識の再確認をお願いしていく。

問 国道52号鯉沢署から追分までの電線地中化は。

建設課長 景観や災害からの安全確保のため、今後さらに県や国に地中化要望を強く進めていく。

ふじかわ昔ばなし

落語

「鯀沢」



身延山参りの旅人が、法論石霊場から鯀沢の船着き場に出ようと雪道に迷い、山中の一軒家に一宿を請う。そこにいたのは美しい女。のどには刃物で突いたような月形の傷。

「見覚えがあるが」と旅人は首をひねり「吉原の熊造丸屋の月の兔おいらんじゃござんせんか」

昔の客と知り、警戒を解いたお熊は身の上を話す「心中したんですがやりそこなつて、品川溜めへ下げられて、女太夫になるところを危うく逃げて、ここに隠れていゝるんです」

同情した旅人は、心付け

を二両わたす。

お熊のすすめる卯酒に酔った旅人は隣の部屋へ。酒を都合しに、お熊が外出したところへ亭主の熊の膏薬売りが帰り、残っていた卯酒を飲むと、にわかにつしみて出す。お熊が戻り「なんてことを。旅人の胸巻きがずつしり重そうだから、おまえが帰ってきてひと仕事するまで逃げられないように卯酒にしびれ薬を仕込んだんじやないか」

これを聞いた旅人は驚くしびれた体にむち打って逃げ出し、小室山で授かった毒消しの護符を雪で飲み込むと、不思議に効いてくる。部屋に戻り、荷物を取ると一目散。物音に気づいたお熊は、鉄砲を持って追いかける。懸命に逃げる旅人が行き着いたのは、そそり立つ絶壁。眼下には鯀沢の流れ降り続いた雪で水勢を増したものが、いきり立つような流れ。振り返れば、鬼の形相のお熊が迫ってくる。意を決した旅人は、がけ下に見付けたいかだ目掛けて身を躍らせる。

落ちた弾みで抜けた道中、差しが縄を切ったか、いかだはばらばらに。一本の材木にすがって流れ下る旅人が、がけの上から、片ひざついたお熊が鉄砲を向ける。「南無妙法蓮華経」思わずお題目を唱えた直後、「ズドン」と響く銃声。弾は、旅人のまげをかすめて傍らの岩に跳ねる。「ああ、この大難を逃れたのも祖師の御利益、一本のお材木一片のお題目で助かった」

(富士川町ホームページから転載)

落語「鯀沢」は三遊亭圓朝作であるが、演者によってアレンジされている。

六代目三遊亭圓生の斬では、身延にお詣りする順番は決まっていた、青柳の昌福寺へお詣りをして、小室山で毒消しの護符を受け、法論石へお詣りしてから鯀沢へ出て、本山へお詣りをするという富士川町が舞台となっている。

議会クイズ

- 問題1. 議員地区懇談会の参加者は 人です。
- 問題2. 休日議会の一般質問は 人です。
- 問題3. 広報モニターの人数は 人です。

《 景 品 》 抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。
 《 応募要領 》 必要事項を記入の上、ハガキにて応募ください。

・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
 ・年齢 ・電話番号 ・議会だよりの感想

《 宛て先 》 〒400-0592 富士川町天神中条1134
 富士川町議会事務局 行

《 締め切り 》 平成25年8月末日(当日消印有効)
 《 当選者の発表 》 商品の発送をもって当選と代えさせていただきます。

前回の答え
 (1) 新年度予算は73億7762万円 (2) 通学路カラー化 予定は3路線 (3) 新しく造られた課は防災課

広報
 常任委員会

委員長 神田 智
 副委員長 洋平 智
 委員 神田 洋平
 委員 鮫坂 實
 委員 保坂 勝
 委員 深澤 勝
 委員 井上 光
 委員 井上 光

編集後記

富士川町の座標は北緯35度33分30秒、東経138度27分55秒、標高258m⁵⁶。地球の公転でこの時季はお日様が250万kmも近づき、太陽高度も80度近くになりますので、暑いのは自然体です。

体調管理には十分気をつけて頑張りましょう。

新しい8名のモニターの皆さまの意見をいただき、見やすい議会だよりにしたいと思います。

(保坂 實)